

渡辺副会長による「食品ロスについて」 研修アンケート結果（抜粋）

委員の皆様から多く寄せられたご意見を、以下にまとめました。

☆講演の内容について感じたことをお書きください という質問に対して

- ・今後の食品ロスを減らす意識改革の良いチャンスとなった。
- ・小平市の食品ロスが割と少ないと聞き、やや安心した。家族に食を提供する主婦の立場として、日々の努力が大切であると痛感した。
- ・個人・職場・自治体での具体的な行動目標が明らかな形で見えてくると取り組みやすいと感じた。食品ロスをなくそうという気持ちはあるが、具体的に行動できない自分を反省した。
- ・家庭での食事の仕方、調理方法、買い方まですべてを考える必要がある。
- ・未利用品（賞味期限・消費期限が切れたもの）を減らす努力をしようと感じた。
- ・小学生から家庭でできる食品ロスの考え方や実行方法を学校教育に積極的に取り入れることが重要だと考える。後継の世代に対して働きかけが大事だと感じた。
- ・食品廃棄への意識が地域や年齢や国によって随分と違うことを知った。どうしたら少なくすることができるのか。世代を越えてもの大切さを伝えていかないといけないと思った。

☆食品ロスの対策として、「小平市として」どのようなことに取り組んでいくべきかお書きください という質問に対して

- ・何をどうするのか、が明らかになるとよいと思う。実際に取組むのは個人が中心となると思われる。分かりやすいことが必要だと感じる。
- ・家族構成・年代・生活様式等、各家庭には様々な違いがあるが、「食品ロス」の意識を高めるための週間をつくり意識を高めていきたい。（交通安全週間や防災週間のように取組む）
- ・三角柱は大変良いと思う。
- ・農家の立場として、生産物の保存法や調理法を消費者へ伝えていきたい。
- ・学校で、児童生徒の学習に取り組むことで、家庭にも広げられるのではないかと思う。
- ・賞味期限・消費期限に関する考え方を、食品ロスとの取組みで考える機会に。
- ・「もったいない」の定着を。
- ・コロナ禍で買い置きが多くなっているの、買い置きは毎月〇日にチェックして、美味しく食べられる努力を提唱してみてもは。
- ・料理方法・保管方法をおばあちゃんの知恵袋の様に広報して欲しい。
- ・ロスになりやすい食品の消費ノウハウを募集して良いものを広報してみてもは。
- ・特に市内の主要スーパーに対しても食品ロス、廃棄物の少量化の協力を求めていくことも必要だと考える。